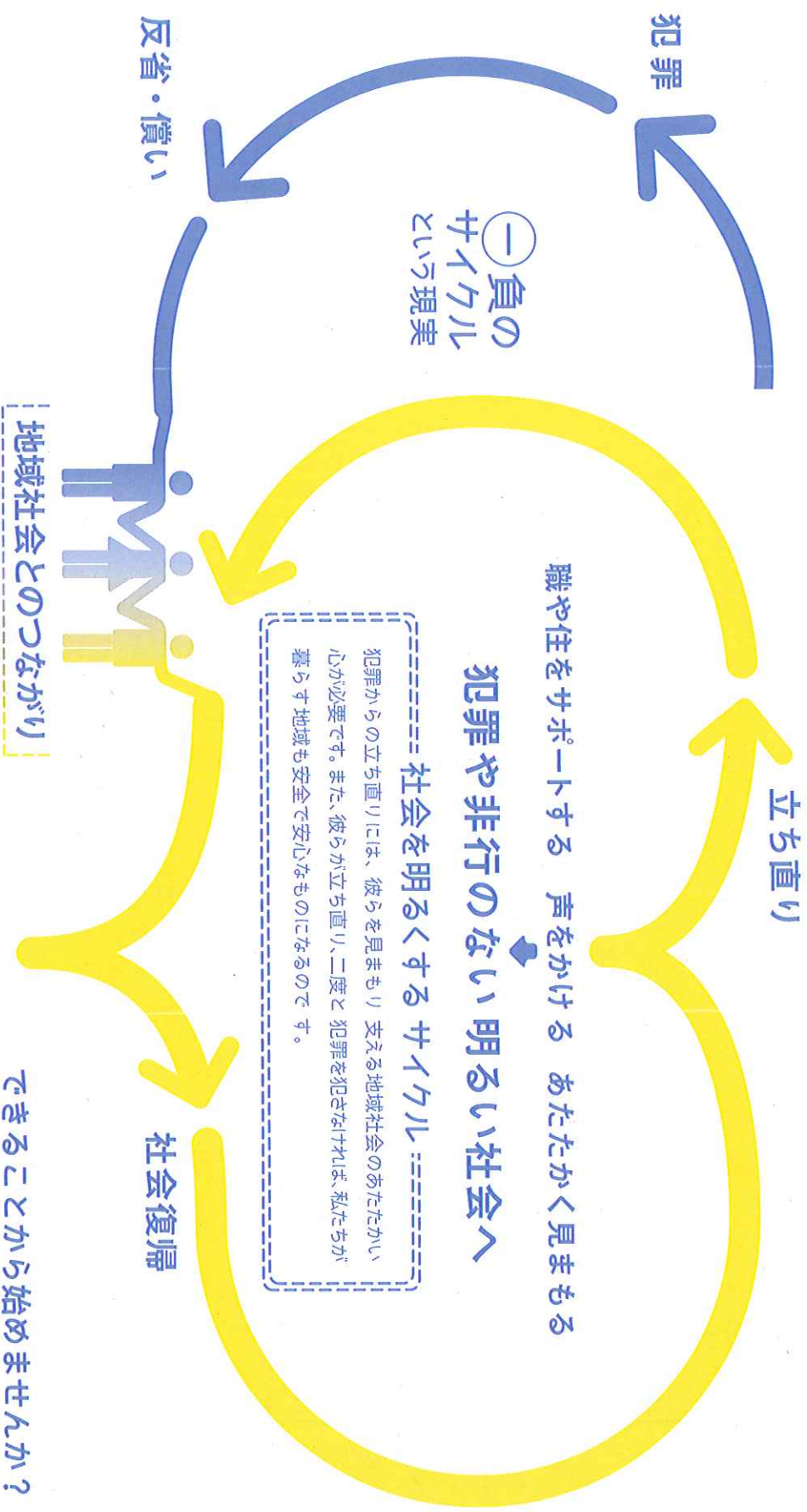


犯罪が起こるサイクルを変えるのは、あなたのまなざしです。



立ち直りを支える“更生保護”

国とボランティアが力を合わせて、犯罪からの立ち直りを支えていくのが“更生保護”という活動です。全国で約26万人のボランティアが参加・協力しています。

立ち直りを支える人たち



できることから始めませんか？

犯罪からの立ち直りには、本人の努力はもちろんですが、周りの人の応援や地域の中に「居場所」があることが大きな後押しになります。立ち直ろうとする人を受け入れ、支える方法は様々です。何ができるかを一緒に考え、できることから始めてみましょう。

◎黄色い羽根は、“社会を明るくする運動”への理解と協力のあかしです。

変えるためには？

居場所がない

帰る場所がない
 仕事がない
 相談する人がいない

罪を犯した人も、反省と償いを経て社会に帰ってき
 ます。彼らが立ち直りのため
 に努力するのは当然ですが、
 社会に居場所がないがために
 再び犯罪を重ねてしまうという
 悪循環があることも事実です。

社会復帰

刑務所に再び入所した
 人のうち約7割が無職



再入受刑者に占める
 無職者の割合

高齢者犯罪の約7割が
 生活苦などによる窃盗



高齢者犯罪の動機

社会を明るくする運動 とは？

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が犯罪と非行の防止と
 立ち直りについて考え、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や
 非行のない地域社会を築こうという国民運動です。

おかえり。



おかえりサイト
 犯罪や非行をした人の
 立ち直りを支えている
 「更生保護」に携える人・
 施設・取り組みについ
 て紹介しています。



そのほか更生保護に携わるボランティアの紹介や様々な活動情報
 を掲載しています。ぜひ一度ご覧になってください。

更生保護ネットワーク

検索

<http://www.kouseihogo-net.jp/>

お問い合わせはお気軽に保護観察所まで

地域で活躍する更生保護ボランティアや“社会を明るくする運動”に
 ついては、お近くの保護観察所までお気軽にお問い合わせください。

つぐなう、とは何か。
 その間いと向きあいなが
 らともに生きていく。
 あやまちの「そのあと」にこそ。
 社会の支えが必要です。



おかえり。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
 第64回 社会を明るくする運動

更生保護法人 全国保護司連盟 更生保護法人 日本更生保護協会